

平成30年度第1回 「大村知事と語る会」

テーマ：スポーツ大会等を通じた障害者の社会参加

～スペシャルオリンピックス2018愛知を契機に～

平成30年7月27日(金)
愛知県庁本庁舎 正庁

あいち健康福祉ビジョン2020 (平成28年3月策定)

○ 基本理念

ともに支え合う安心・健やかで幸せなあいち
～「あいち健幸社会」の実現

人と人とのつながり・支え合いにより、誰もが健やかで健康に暮らせる社会の実現を目指す。

○ 目指すべき健康福祉社会

子ども、若者、女性、高齢者、障害のある人など、全ての人が活躍する「人が輝くあいち」

子ども
貧困が世代を超えて連鎖せず、夢と希望を持って健やかに成長できる

女性
仕事と生活の調和がとれ、男性の家事・育児参加が増えるなど女性が社会で活躍できる環境が整っている

障害のある人
障害の有無にかかわらず、等しく個人として尊重され、生涯を通じて地域で安心して暮らし、あらゆる分野の活動に参加できる

支援や配慮が必要な人など
状況に応じた支援が受けられ、社会の一員として助け合って生活できる

若者
経済的に自立した生活ができ、希望する人が結婚や子どもを持てる

高齢者
退職後も社会の支え手として活動でき、医療や介護が必要になっても、必要なサービスを受けて地域で安心して暮らせる

働く世代
安心して子育てや家族の介護、病気治療をしながら仕事や社会生活を継続できる

あいち健康福祉ビジョン2020

～障害のある人への施策の方向性と主な取組～

課題	施策の方向性と主な取組
1.特別支援教育の充実	インクルーシブ教育システムの構築、特別支援学校の教育環境の整備及び通学環境の改善
2.障害のある人の地域生活支援と療育支援	身近な地域で医療や療育が受けられる体制づくりの推進、障害のある人やその家族等が行う活動への支援など
3.地域における就労支援の充実	自立・社会参加に向けた就労の機会の提供・職業能力の開発支援、工賃水準の改善など
4.障害のある人の活躍の場の拡大	障害者アートの推進、障害者スポーツの推進
5.社会全体で支える環境の整備	障害者差別解消推進条例に基づく差別解消に向けた体制整備、防災・防犯対策の推進など

「障害のある人の活躍の場の拡大」に向けて

① 障害者スポーツの推進

- スポーツを楽しむ障害のある人を増やすため、身体・知的・精神などの障害特性に応じたスポーツを楽しめる環境づくりの推進。
- 既に障害者スポーツに取り組んでいる障害のある人へは、レベルアップのための実技指導等の実施。

② 障害者アートの推進

- 障害のある人のアート作品の展示、舞台・ステージ発表の開催。
- 障害者入所支援施設等を訪問し、絵画教室等の出前講座の開催。



障害のある人の
社会活動への参加



- 障害のある人の自己実現や生活を豊かにする。
- 障害の有無を超えた人々の交流の機会により、障害に対する理解や認識を深める。
- 日常の楽しみや充実した生活の実現につながる。

スペシャルオリンピックス2018愛知

～ 知的障害のある人のスポーツの全国大会 ～
〔 様々なトレーニング成果の発表の場 〕

■ 大会名称

2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知
(略称: スペシャルオリンピックス2018愛知)

■ 開催日程

平成30年9月22日(土)～24日(月・祝)

■ 出場選手(=アスリート)数

約1,000名(男性:約760名、女性:約250名)

■ 実施競技〔13競技〕

競泳、陸上競技、バドミントン、バスケットボール、
ボウリング、馬術、サッカー、ゴルフ、体操競技、
卓球、テニス、バレーボール、フライングディスク

■ 実施会場

名古屋市、豊田市、刈谷市、日進市、大治町



【大会ロゴマーク】



【競技風景】

あいちアール・ブリュット障害者アーツ展

～ 平成26年度から始まった障害のある人の愛知県での芸術・文化祭 ～
〔 障害のある人の社会参加と障害への理解促進 〕

【ロゴマーク】



あいち
アール・
ブリュット

■ 開催期間

平成30年9月20日(木) ～ 24日(月・祝)

■ 開催場所

名古屋市民ギャラリー矢田／名古屋市東文化小劇場(名古屋市東区)

■ 主なプログラム

I. 作品展「あいちアールブリュット展」(公募作品展、紹介作品展)

II. 舞台・ステージ発表(コンサートなど)

III. トークイベント

これまでの取組

- ① あいちアール・ブリュット展
- ② 全国障害者芸術・文化祭
- ③ 優秀作品特別展



①



②



③



御清聴ありがとうございました